

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和6年度）

都道府県名 兵庫県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導 農業者数 4農場	11	275%	A	294,059	294,000	令和6年度 目標達成
II 畜産GAP等 認証の取得拡大	畜産GAP認証の 取得等経営体数 1農場	1	100%	A	259,500	150,000	令和6年度 目標達成
<p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 県南西部において、パイロット的農場である採卵鶏農場の個別認証取得を優先的に濃密な生産現場の指導活動を行った結果、令和7年3月5日付けで畜産GAPの個別認証を取得することができた。また、県南西部の2名の職員に指導員（更新）インターネット研修を受講させることで当地域における指導推進体制の継続を図った。 県北部においてはこれまでの経緯等を踏まえ、認証取得に向けた活動の再開への働きかけや新たに認証取得を目指す農場の掘り起こしなどの啓蒙活動を行った。当地域においては2名の県職員が指導員（新規）資格を取得することで指導推進体制を強化した。 その他の地域においても5農場（採卵鶏1農場、肉用牛4農場）に対して現地指導を実施したことから、県全体では計6農場（のべ11農場）に対して認証取得に向けた指導活動を行った。 							
<p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 県南西部の採卵鶏農場に対しては、これまでの自己点検やマニュアルの修正作業のみならず畜産GAP指導員による模擬審査など、のべ6回の濃密な指導を行ったことから、畜産GAPの個別認証取得を実現させることができた。また、当地域での指導員（更新）インターネット研修受講により、将来の団体認証を目指すためには不可欠な指導推進体制を継続することができた。 県北部での認証取得に向けた活動の再開には至らなかったが、今後も継続的な働きかけを行う一方で、新たな農場の掘り起こしなどの啓蒙活動を行うために、指導員（新規）資格を取得し、指導推進体制の強化を図ることで認証取得に対する機運を醸成することができた。 その他の地域でも現地指導による普及啓蒙を行うことで、県全体の新たな畜産GAPの推進方針を模索しつつある。 							
<p>国による評価</p> <p>I 「日本版畜産GAP指導活動の推進」について、県南西部の2名の指導員が更新研修の受講により、地域の畜産GAP指導体制の継続に繋がった。またGAP取得を推進する目的として、指導農場者数の目標値4農場に対し、11農場に現地指導が行われていることから目標を達成した。</p> <p>II 「日本版畜産GAP等認証の取得拡大」について、南西部地域から畜産GAP認証取得に取り組んでいた1農場が目標どおり認証取得を達成するなど、いずれも成果目標を達成しており、畜産GAPの拡大及び推進に寄与したものとなっている。</p>							

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和5年度）

都道府県名 兵庫県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 13農場	14	108%	A	171,280	171,280	令和5年度 達成済
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 1農場	0	0%	D	0	0	令和5年度、 6年度未達成
<p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に畜産GAPの普及を図るため、畜産GAPに関心を持つ養鶏農場に対して認証取得に向けた現地指導を行った。県南西部において、令和6年度畜産GAP拡大推進加速化交付金により、県南西部の2名の県職員に指導員（更新）インターネット研修を受講させることで当地域における指導推進体制の継続を図り、目標の令和5年度内取得には至らなかった採卵鶏農場の個別認証取得を優先的に濃密な生産現場での指導活動を行った。 							
<p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の指導対象農場である、県南西部の採卵鶏農場に対しては、当地域での指導員（更新）インターネット研修受講により、将来の団体認証を目指すためには不可欠な指導推進体制を継続しつつ、これまでの自己点検やマニュアルの修正作業のみならず畜産GAP指導員による模擬審査など、のべ6回の濃密な指導を行ったが認証取得までには至らなかった。 							
<p>国による評価</p> <p>令和5年度成果目標のうち未達成となっている、II「日本版畜産GAP等認証の取得拡大」については、南西部地域から1農場の畜産GAP認証取得経営体として年度内取得を目標として、南西部地域では継続的な現場での指導を行っているが、認証取得までには至らなかった。このことから、別農場での認証取得を目指すことも含めて、令和7年度の目標達成に向けた改善計画書の提出を求める。</p>							

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和4年度）

都道府県名 兵庫県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 18農場	23	128%	A	290,112	290,112	令和4年度達成済
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 1農場	0	0%	D	0	0	令和4、5、6年度未達成
<p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5、6年度と県北部のブロイラー農場については、農場間における飼養衛生管理水準を高めるための現地指導等を行い、認証取得に向けた活動の再開への継続的な働きかけを行っているが、活動再開は困難であることから、新たに認証取得を目指す農場の掘り起こしなどの啓蒙活動を行ったが、認証取得までは至らなかった。なお、当地域においては令和6年度畜産GAP拡大推進加速化交付金により、2名の県職員が指導員（新規）資格を取得することで指導推進体制を強化した。 							
<p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 県北部のブロイラー部門の重点地域では、令和4年度に取得に向けての陣頭指揮を執っていた担当者の病気療養により推進活動が中断してしまった。急遽配属となった担当者や現場責任者に対して定期的に啓蒙活動を行ったが、人的・時間的な余裕がなく、活動再開には至らなかった。 令和5、6年度においても、認証取得に向けた活動の再開を働きかけるも、再開に至らなかったが、今後も継続的な働きかけを行う一方で、新たな農場の掘り起こしなどの啓蒙活動を行うために、県職員が指導員（新規）資格を取得し、指導推進体制の強化を図ったが、認証取得までには至らなかった。 							
<p>国による評価</p> <p>令和4年度成果目標のうち未達成となっている、II「畜産GAP等認証の取得拡大」については、認証取得を目指しているブロイラー農場では担当者が変更となり、人的、時間的に余裕がないため、認証不取得。</p> <p>また、当地域での新たな農場の掘り起こしを行うなどの活動を行うため、2名の県職員が指導員（新規）資格の取得を得て指導体制の強化を図り、認証取得に向けた新たな農場の掘り起こしを行ったが、認証取得までには至らなかった。このため、令和7年度の目標達成に向けた改善計画書の提出を求める。</p>							